

MARIA LUISA MACELLARO LA FRANCA, piano



マリア・ルイーザ・マチェッラーロ・ラ・フランカ (ピアノ)
イタリアの新世代を代表する実力派アーティストの一人である。パレルモ音楽院にてピアノ・作曲及び指揮を学び首席で卒業後、名門スイス音楽高等学院のシェルバコフに師事しながらさらにジャズ、室内楽、古楽のディプロマを取得。国内外の数々のコンクールに優勝し、若くしてパレルモのポリテアマ劇場をはじめ世界各国の名ホールにて演奏を重ねた。作曲家・指揮者としても定期的に国際音楽フェスティバルから招聘されている。自作「ファルコーネとボルセッリーノの死を悼むカンタータ」は各国で栄誉ある賞を獲得した。ポルダーの名オーケストラ「ユニソン・アクメ」常任指揮者として多くの著名ソリストと共演の他、ベルリン室内楽合奏団の指揮も果たす。ルクス・クラシック社、ダヴィンチ・クラシック社から出ている3枚のピアノ・ソロCDはいずれも好評を博している。

Pianist, conductor, and composer, she is considered one of the most important Italian artists, with a wide repertoire both on original instrument and modern piano.

She plays all around Europe and Asias about 50 concerts pro year; for her opera EMES and Cantate pour la mort de Falcone et Borsellino she won Envie d'agir 2009, LABEL IDDAC 200ç, Prix du Conseil Regional.

She debuts in april with orkestra akademik basket ANKARA (Ertug Korkmaz) Second Rachmaninoff and in Como Festival Lisztomanias Internationals.

藤井泰子 (ソプラノ)

広島出身、イタリアで活躍するソプラノ。幼少よりピアノとフルートを学び田原祥一朗の指導のもと声楽を始める。慶應大学卒業後、日本オペラ振興会育成部を修了。イタリア政府の給費にてボローニャ元王立音楽院で学び指揮者ジョセフ・ジャルディーナに師事。ペトゥルツェリ劇場およびフォッジャ州オペラ研究所奨学生、サルツォオペラ国際コンクール優勝後「蝶々夫人」「カルメン」「ドンジョヴァンニ」「ボエーム」などイタリアを始め国際舞台で数々の主演デビューを果たす。

暖かく柔軟な声質と音楽性を評価され、バロック音楽から現代音楽まで幅広いレパートリーで活躍している。

近年「ニーノ・ロータ賞」「ナポリの声～セルジョ・ブルーニ賞」を授賞。イタリア TV 局 RAI 及び MEDIASET に度々出演している。

Yasko Fujii, born in Hiroshima, is a lyric soprano, with an extensive Italian background.

Her warm voice and musical acumen brought her to stages across Europe, Asia and America. She also appears regularly on Italian national tv. Her repertoire ranges from baroque to contemporary.

YASKO FUJII, soprano

